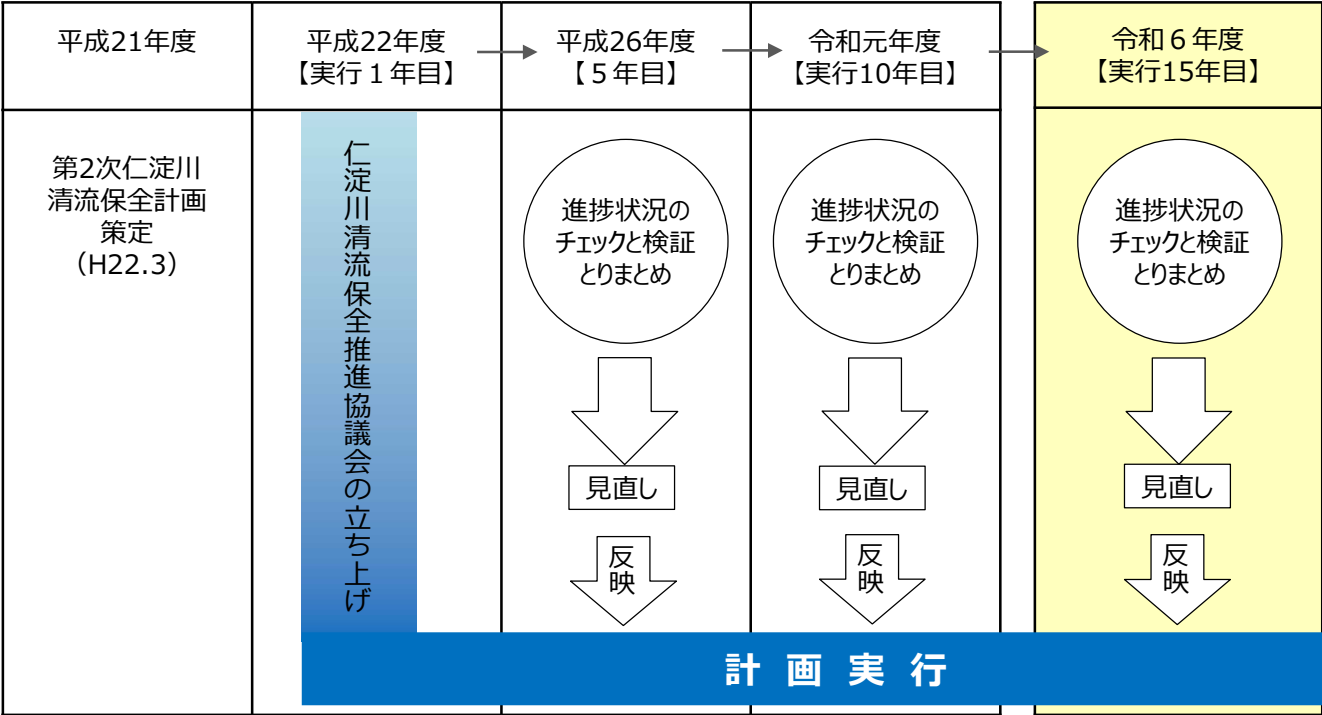


- 仁淀川清流保全計画は、5年毎に見直しを行い公表しており、令和6年度が改訂作業年度にあたります。
- 計画改定業務では、流域関係者の皆さまのご意見などを伺いながら、これまでの取組を検証したうえで必要な見直しを行い、向こう5年間の計画に反映させます。
- 改訂にかかる情報収集や取りまとめ、検証などは、主に、県が委託した民間事業者が担います。
委託事業者が決定しましたら皆さまにもお知らせしますので、聞き取りなどへのご協力をお願いします。
- また、秋頃の第2回全体会で計画案の協議を行います。こちらにつきましてもよろしくお願いします。



改訂スケジュール（案）	
令和6年5月	第1回全体会：改訂について
5～10月	取組状況の総括及び取組項目の見直し
11～12月	第2回全体会：計画（案）の協議 国、流域市町村、県庁各課への意見照会 意見集約・計画案の調整
令和7年1月	第2次仁淀川清流保全計画（第3期）の策定
1～3月	冊子印刷発注・作成、ダイジェスト版印刷
4月	冊子及び概要版を配布

改訂等委託業務スケジュール（案）	
【改訂業務委託】	
令和6年	
4月	委託業務の施行伺
5月	指名伺、入札、委託事業者決定
6月	委託契約、事業者との打合せ
7～10月	事業者による情報収集
11～12月	報告書及び計画（案）作成 第2回全体会での提示
令和7年	
1月	第2次仁淀川清流保全計画完成 成果品納品
2～3月	業務完了報告
【印刷業務委託】	
令和7年	
1～2月	見積り合わせ、委託契約
3月	冊子完成、納品

冊子等の配布について	
【発行部数】	
冊子300部	概要版1,200部 ※概要版はコピー機で印刷
【配布先】	
仁淀川清流保全推進協議会関係者、仁淀川流域各市町村、 仁淀川流域交流会議、当県関係課、流域の小中学校 等	

第2次仁淀川清流保全計画（R2～R6） 取組一覧

テーマ：子どもたちを川へ呼び戻す

R6. 5 自然共生課まとめ

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
親子で川にふれ合う行事の充実・広報	継続：川にふれ合う行事の充実・広報	有	△
	新規：「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施		○
安全・安心で楽しい水辺活動の推進	継続：「RAC川の安全教室in仁淀川」の実施による指導者育成	有	○
	継続：指導者間の連携への支援		○
	継続：子ども水辺安全講座の実施		△
	新規：仁淀川流域向け入門編の実施		△
学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援	継続：学校での環境学習実施への支援	有	△
	新規：水質マップによる情報発信		○

テーマ：水文化を継承する

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
流域の水文化に親しむ機会の拡大	継続：流域の水文化に親しむ機会の情報発信	有	○
	新規：「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施（再掲）		
地域の営みや伝統文化に根ざした暮らしの維持	—	—	—
仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用	継続：伝承の収集と情報発信	—	—
	新規：「仁淀川学習」プログラム開発及び実施（再掲）	有	○

テーマ：川本来の生態系を取り戻す

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
自然環境調査の実施	継続：自然環境調査の実施	有	○
生物多様性の確保に向けた取組の実施	継続：外来種対策の実施	—	—
	継続：外来種拡大防止に向けた情報発信	—	—
水辺林の保全と適正な管理	継続：水辺林の保全と適正な管理	—	—

テーマ：美しい景観を保全する

課題（△）及び対応
△ 仁淀川親子体験教室（主催：高知県立高知青少年の家） 2024(R6)目標：10回 R2～R4 実績：0回 ※川以外の企画内容に変更したため R5 実績：1回 ※仁淀川親子ふれあい交流体験（主催：仁淀川漁業協同組合） 【課題】 特定の主催者が実施する親子体験活動のみを目標指標とすることに限界がある 【R6計画（案）】 流域の各団体等において実施している「川にふれ合う行事」を連携して実施し、広報していく （協議会として認知・共有していなかった活動の掘り起こし含む） △ 子ども水辺安全講座の実施 2024(R6)目標：実施校数7校・受講者数140名 R2～R5 実績：計3校、39名 【課題】 「調べ学習ハンドブック」の周知などを通じて学校等への継続的な提案が必要 【R6計画（案）】 R5から「調べ学習ハンドブック」の個別周知を行っており引き続き提案していく また、実施校の取組を広報等で紹介することで認知度を上げていく △ 仁淀川流域向け入門編の実施 2024(R6)目標：実施回数12回 R2～R5 実績：モニタリング・講座実施0回 【R6計画（案）】 R5には「調べ学習ハンドブック」へ項目追加し、PTAが集まる場などで周知を行ったが、 R6は学校や保護者向けニュースレターの中で紹介していく △ 学校での環境学習実施への支援 2024(R6)目標：水生生物調査・水質調査 実施校数各21校 R2～R5 実績：水生生物調査 各年7～11校、水質調査 各年7～12校 【R6計画（案）】 R5に「調べ学習ハンドブック」の個別周知を行った結果、R6に実施希望の学校あり。 実施の支援を行うほか、その取組を学校や保護者向けニュースレターの中で紹介していく 水生生物調査、水質調査、その他環境学習にかかる資材を徐々に揃え、紹介・貸し出し を行っていく その他全般 【課題】 行動計画（線表、目標等）を定めていない取組項目についての議論が不十分

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
「仁淀川・環境の日」の啓発・一斉清掃への参加呼びかけ	継続： 仁淀川一斉清掃の実施 新規：「清掃活動 +α」の検討及び実施	有	○
河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施	新規： 事業者との連携による啓発の実施 新規： 河川ごみマップ等による情報発信	有	○
上下流の連携	新規：「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施（再掲） 新規： 水質マップによる情報発信（再掲） 継続： 河川ごみマップ等による情報発信（再掲）	有	○
環境先進企業、関係団体との協働による仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進	継続： 流域の団体が実施している環境保全活動の普及促進 継続：「協働の川づくりパートナーズ協定」による取組 継続： 仁淀川の清流保全に関する寄付事業	－ 有 －	－ ○ －

テーマ：豊かな水量を確保・維持する

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
健全な森づくりによる山の保水力の回復	継続： 間伐の実施 継続： 針広混交林の拡大（落葉広葉樹の植林）	－ －	－ －
森林組合や民間林業事業体に加え、自伐小規模林業者や森林保全ボランティアを活用した森林整備	継続： 自伐林家等の林業機械レンタル支援 継続： 森林保全ボランティア等の育成 継続： 森林保全ボランティアの協力による森林整備の推進	－ － －	－ － －
地球温暖化対策に着目した森林整備	継続：「協働の森づくり事業」を活用した森林整備の推進 継続： 木質バイオマスの利用拡大	－ －	－ －

テーマ：排水・汚水処理対策を進める

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
生活排水対策	継続： 生活排水対策の実施	－	－
地域における環境保全対策	新規： 家庭での環境保全対策についての情報発信 新規：「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施（再掲）	有	○
事業系排水対策	継続： 事業者と行政機関が連携した浄化施設の整備	－	－
水質測定の測定結果と経年変化の分析	継続： 水質測定結果と経年変化の確認及び水質改善策の検討 継続： 水質測定結果についての情報発信	－ －	－ －

「第2次仁淀川清流保全計画」における事業の具体的な実施状況

R6.5月作成

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目 的	仁淀川にふれ合う行事を充実させるとともに広報活動を実施することによって、親子で参加できる行事へ数多くの参加を促す。
取組項目	親子で川にふれ合う行事の充実・広報		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目 標 (2024(R6))
				2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	
1	川にふれ合う行事の充実・広報 仁淀川にふれ合う行事を実施するとともに、参加しやすくなるよう情報発信を行う。 また、媒体の活用方法について整理し、流域で川にふれ合う行事を行っている団体等へ提供することによって情報発信しやすくなるよう支援する。	親子体験教室※:7回 Facebook等での情報発信	計画	媒体活用方法の整理 → 提供	行事の実施及びホームページFacebook等を活用した情報発信				親子体験教室:10回 Facebook等での情報発信
			実績	親子体験教室:0回 媒体活用方法の提供の実施	親子体験教室:0回 Facebook等での情報発信:15回	親子体験教室:0回 Facebook等での情報発信:27回	仁淀川親子ふれあい交流体験:1回 Facebook等での情報発信:36回		
2	「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	調べ学習ハンドブックの周知	プログラム数:10個 実施回数:10回
			実績	プログラム数:2個 実施:2回	プログラム数:1個 実施:0回(中止)	プログラム数:1個 実施:1回	プログラム数:1個 実施:1回		

※親子体験教室とは：県立青少年の家主催の川での実技体験

1 川にふれ合う行事の充実・広報

- ・仁淀川親子体験教室（主催：高知県立高知青少年の家） R2～R4 実績：0回
- ・仁淀川親子ふれあい交流体験（主催：仁淀川漁業協同組合、共催：仁淀川清流保全推進協議会 他） R5 実績：1回（約100名） ※過去にも実績あり
 - 【課題】 特定の主催者が実施する親子体験活動のみを目標指標とすることに限界がある
 - 【R6計画（案）】

流域の各団体等において実施している「川にふれ合う行事」を連携して実施し、広報していく

（協議会として認知・共有していなかった活動の掘り起こし含む） 例：親子ふれあいハヤ釣り教室、子どもを対象とした川遊びイベントなど

2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施

- ・川と人、社会、文化の関わり講座 R2～R4 実績：計3回 R5 実績：1回（3名）
 - 【課題】 様々な広報手段（チラシ配布（市町村、公民館等）、ホームページ告知、県政記者室への情報提供等）を用いても参加者が少ない

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目 的	川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材の育成及び育成した人材の指導による子どもを対象とした安全教室、環境学習等が実施できる体制を整える。また、危険箇所マップ等の情報発信により、川での事故防止につなげる。
取組項目	安全・安心で楽しい水辺活動の推進		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目 標 (2024(R6))
				2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	
1	「RAC川の安全教室in仁淀川」の実施による指導者育成 川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材を育成する。 ※ リーダー資格取得に必要な講座:アシスタントリーダー講座、リーダー講座、川という自然の理解講座、川と人、社会、文化の関わり講座	アシスタントリーダー講座:1回、リーダー講座:1回、川という自然の理解講座:1回、川と人、社会、文化の関わり講座:1回 リーダー:6名	計 画 実 績	リーダー(1回)、川という自然の理解(1回)、川と人、社会、文化の関わり(1回)	アシスタントリーダー(1回)、川という自然の理解(1回)、川と人、社会、文化の関わり(1回)	リーダー(1回)、川と人、社会、文化の関わり(1回)	リーダー(1回)、川という自然の理解(1回)、川と人、社会、文化の関わり(1回)	アシスタントリーダー(1回)、リーダー(1回)	アシスタントリーダー講座:2回、リーダー講座:2回、川という自然の理解講座:3回、川と人、社会、文化の関わり講座:5回 インストラクター:2名、リーダー:9名
2	指導者間の連携への支援 Facebookグループを活用し、育成した指導者間の情報交換が促進できるよう支援する。	Facebookグループの立ち上げ及び運用	計 画 実 績	指導者間の情報交換への支援 Facebookグループの運用					—
3	子ども水辺安全講座の実施 川の楽しさを体験するとともに、川のどこが危険なのかを知り、自分の身を守る知識や方法を体験を通じて学習することを目的とした座学、実技を実施する。	実施校数:1校 受講した子どもの数:22名	計 画 実 績	1校	1校	1校	2校	調べ学習ハンドブックの周知	実施校数:7校 受講者数:140名
4	仁淀川流域向け入門編の実施 川での安全対策の必要性や危険なポイント、事前準備など川の安全に関する基礎知識を学べる入門編(座学)を作成、実施する。	新規	計 画 実 績	案作成及びモニタリングの実施	講座の実施(2回)	講座の実施(2回)	講座の実施(4回)	調べ学習ハンドブックの周知	実施回数:12回
5	危険箇所マップによる情報提供 仁淀川の危険箇所の表示(サイン)や危険箇所マップ等作成・配布といった情報発信を行い、仁淀川での事故防止につなげる。	仁淀川危険箇所マップ(HP)の公開及びミニマップの配布	計 画 実 績	危険箇所マップ等の情報発信					—

1 「RAC川の安全教室in仁淀川」の実施による指導者育成 R2～R5 実績:講座合計7回、リーダー数計7名

3 子ども水辺安全講座の実施 R2～R5 実績:計3校、39名

→ 【課題】 「調べ学習ハンドブック」の周知などを通じて学校等への継続的な提案が必要

→ 【R6計画(案)】 「調べ学習ハンドブック」の個別周知を行うなど引き続き提案していく。実施校の取組を広報等で紹介することで認知度を上げていく

4 仁淀川流域向け入門編の実施 R2～R5 実績:R2に入門編の案(=講座用資料)1本作成、R5に「調べ学習ハンドブック」に追加掲載

→ 【R6計画(案)】 R5はPTAが集まる場などで周知を行ったが、今後は学校や保護者向けニュースレターの中で紹介していく

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目 的	流域内の学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援を行い、学校での取組を増やすことによって、子どもたちの川への関心を高める。
取組項目	学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))	計画スケジュール					目 標 (2024(R6))	
			2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度		
1	学校での環境学習実施への支援 仁淀川について学べる講座及び講師の情報収集を行い、「調べ学習ハンドブック」を作成し、流域の学校へ提供するとともに実施への支援を行う。 また、環境学習実施結果の情報発信を行うことによって、流域全体での実施につなげる。	実施校数 水生生物調査:11校(H30) 水質調査:5校(H30)	計画	講座及び講師の情報収集 「調べ学習ハンドブック」の作成 学校への提供 講座実施への支援(既存の取組継続を含む)及び情報発信					実施校数 水生生物調査:21校(R6) 水質調査:21校(R6)
			実績	講座及び講師の情報収集方法検討・収集 「調べ学習ハンドブック」の作成 学校への提供・個別周知 講座実施への支援(既存の取組継続を含む)及び情報発信					
			水生生物調査:7校 水質調査:7校 水生生物調査:11校 水質調査:12校 水生生物調査:11校 水質調査:8校 水生生物調査:10校 水質調査:8校						
2	水質マップによる情報発信 仁淀川流域で実施している水質調査結果を収集して地図化し、実施者や学校に提供を行うとともに情報発信を行う。	新規	計画	水質調査実施状況の把握及び地図化に向けた検討 データ収集、地図化及び情報発信					水質調査実施校数: 21校(R6)
			実績	水質調査実施状況の把握及び地図化に向けた検討 データ収集、地図化 情報発信					
			水質調査:7校 水質調査:12校 水質調査:8校 水質調査:9校						

1 学校での環境学習実施への支援

R2～R5 実績：水生生物調査 各年7～11校、水質調査 各年7～12校

R3年度の調査票をもとに「調べ学習ハンドブック」を作成、流域の小中学校へ配布、R5年度に講座追加・配布、流域教育委員会の指導主事の研修会で紹介、以降は流域教育委員会を通じて紹介を受けた学校を個別訪問など

→ 【R6計画(案)】 実施の申込みのあった学校への支援を行っていくほか、実施した取組を学校や保護者向けニュースレターの中で紹介していく

2 水質マップによる情報発信

R2～R5 実績：水質調査 各年7～12校、水質マップ R4結果HP掲載済・R5結果HP掲載予定

身近な水環境の全国一斉調査に参加している仁淀川流域の団体及び水質調査を実施している仁淀川流域の学校への調査の実施

テーマ	水文化を継承する	目 的	水を上手に使ってきた先人の知恵や流域固有の特徴ある水文化を流域全体で共有しながら次世代へ引き継ぎ伝えていくことを目的として、水文化に親しむ機会の拡大を図る。
取組項目	流域の水文化に親しむ機会の拡大		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目 標 (2024(R6))
				2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1	流域の水文化に親しむ機会の情報発信 仁淀川にふれ合う行事を実施するとともに、参加しやすくなるよう情報発信を行う。	継続	計 画	行事の実施及びホームページFacebook等を活用した情報発信 					—
			実 績	Facebook 投稿回数13回	Facebook 投稿回数15回	Facebook 投稿回数27回	Facebook 投稿回数36回		
2	「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲) 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計 画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	調べ学習ハンド ブックの周知	プログラム数:10個(うち 水文化の継承:5 個) 実施回数:10回(うち 水文化の継承:5個)
			実 績	プログラム数:2 個 実施:2回	プログラム数:1 個 実施:0回(中止)	プログラム数:1 個 実施:1回	プログラム数:1 個 実施:1回		

1 流域の水文化に親しむ機会の情報発信(再掲)

2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲)

テーマ	水文化を継承する	目 的	水を上手に使ってきた先人の知恵や流域固有の特徴ある水文化を流域全体で共有しながら次世代へ引き継ぎ伝えていくことができるように、仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用に取り組む。
取組項目	仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目 標 (2024(R6))
				2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1	「仁淀川学習」プログラム開発及び実施(再掲) 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計 画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	調べ学習ハンド ブックの周知	プログラム数:10個(うち 水文化の継承:5個) 実施回数:10回(うち水文化の継承:5個)
			実 績	プログラム数:2 個 実施:2回	プログラム数:1 個 実施:0回(中止)	プログラム数:1 個 実施:1回	プログラム数:1 個 実施:1回		

テーマ	川本来の生態系を取り戻す	目 的	流域での水生生物や水生植物の生息調査の実施により、仁淀川流域の生物多様性について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	自然環境調査の実施		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目 標 (2024(R6))
				2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	
1	自然環境調査の実施 河川やその周辺に生息・生育する生物の現状を把握するために自然環境調査を実施し、必要に応じて保護・保全を行う。	継続	計 画	既存調査内容の把握及び実施に向けた検討 調査実施					調査実施回数:2回
			実 績	仁淀川のいきもの調査実施に向けた検討 調査2021 実施 調査2022 実施 調査2023 実施 調査2024 実施 結果の広報					

1 自然環境調査の実施 R2～R5 実績：カジカガエルの鳴き声調査 R3～5実施、観察会2回
 → 【R6計画(案)】 「カジカガエルの鳴き声調査2024」の開催周知(全体、個別)、参加(流域住民・学校等)、見える化(地図におとす)、結果広報

テーマ	美しい景観を保全する	目 的	流域全体での一斉清掃等の実施により清流保全活動に参加する機会づくりにつなげるとともに、仁淀川の現状について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	「仁淀川・環境の日」の啓発・一斉清掃への参加呼びかけ		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目 標 (2024(R6))
				2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	
1	仁淀川一斉清掃の実施 「仁淀川・環境の日」(10月24日)の前後の土曜日に、住民や環境先進企業、関係団体等が協働で一斉清掃を実施する。	4回(年1回実施)のべ参加者数:1,515人	計 画	一斉清掃の実施(年1回)					のべ参加者数:2,000人
			実 績	10/24 参加者数:256人	10/23 参加者数:369人	10/22 参加者数:385人	10/14 参加者数:355人		
2	「清掃活動+α」の検討及び実施 ごみ拾いに楽しさや学びをプラスすることによって参加を促すとともに、仁淀川の環境保全への関心を高める。	新規	計 画	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	調べ学習ハンドブックの周知	調べ学習ハンドブックの周知	のべ参加者数:200人 環境への関心が高まったと回答した割合(アンケート調査):80%以上
			実 績	0回	1回 31人	1回 31人	調べ学習ハンドブックの周知 実施:0回		

1 仁淀川一斉清掃の実施 R2～R4 実績：のべ参加者数 1,365人
 → 【R6計画(案)】 令和6年10月19日(土)又は26日(土) 5地域：8時から1時間程度、1地域：7時から1時間程度

2 「清掃活動+α」の検討及び実施 R2～R5 実績：計2回

テーマ	美しい景観を保全する	目 的	仁淀川のごみの状況について正しく把握するとともに河川利用者のマナー向上につなげる。
取組項目	河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目 標 (2024(R6))
				2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	
1	事業者との連携による啓発の実施 河川利用者との接点を持つ事業者※と連携した、河川利用者に対する啓発を実施することによってマナー向上につなげる。	新規	計画	事業者との協議 →	啓発案作成	連携した啓発の実施 →			—
			実績	観光事業者との協議: 1回 →	啓発案検討	連携した啓発の実施 →			
2	河川ごみマップ等による情報発信 仁淀川流域で回収されたごみの種類や量を地図化し、上流から下流への変化や本川と支川の違いを見える化する。また、不法投棄されたごみの量や種類、場所などの情報を収集するための仕組みづくりを行う。	新規	計画	清掃活動実施状況の把握及び地図化に向けた検討 データ収集、地図化及び情報発信 →					ごみマップによる情報発信回数: 1回
			実績	清掃活動実施状況の把握(おもてなしの水辺創成事業)方法協議	調査項目検討 → 清掃実績査	地図作成 → 情報発信	→		

1 事業者との連携による啓発の実施

R 2～R 5 実績: R 3から「仁淀川スタイル」発信

→ 【R 6計画(案)】 「仁淀川スタイル」発信の継続 令和6年7～9月の間に計10回投稿

その他 NPO仁淀川お宝探偵団主催「カヌーでGO!SUPでGO!」 令和6年4月28日(日)開催済

2 河川ごみマップ等による情報発信

R 2～R 5 実績: 河川ごみマップ R 4結果HP掲載済・R 5結果HP掲載予定

→ 【R 6計画(案)】 調査票配布団体: 仁淀川清流保全推進協議会の委員及び部会員、仁淀川一斉清掃参加団体、おもてなしの水辺創成事業活用団体等

テーマ	美しい景観を保全する	目 的	愛媛県も含めた上流と下流とがつながっていることを意識できる機会を提供することによって、流域全体で連携した清流保全活動の推進につなげる。
取組項目	上下流の連携		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目 標 (2024(R6))
				2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	
1	「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲) 仁淀川をテーマにしたプログラムを作成し、楽しみながら学べる機会づくりにつなげる。	新規	計 画	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	プログラム数:5個 実施回数:5回
			実 績	プログラム数:2個 実施:2回	プログラム数:1個 実施:0回(中止)	プログラム数:1個 実施:1回	プログラム数:1個 実施:1回		
2	水質マップによる情報発信(再掲) 仁淀川流域で実施している水質調査結果を収集して地図化し、実施者や学校に提供を行うとともに情報発信を行う。	新規	計 画	水質調査実施状況の把握及び地図化に向けた検討		データ収集、地図化及び情報発信			水質調査実施校数: 21校(R6)
			実 績	水質調査実施状況の把握及び地図化に向けた検討		情報発信			
				データ収集、地図化					
				水質調査:7校	水質調査:12校	水質調査:8校	水質調査:9校		
3	河川ごみマップ等による情報発信(再掲) 仁淀川流域で回収されたごみの種類や量を地図化し、上流から下流への変化や本川と支川のの違いを見える化する。また、不法投棄されたごみの量や種類、場所などの情報を収集するための仕組みづくりを行う。	新規	計 画	清掃活動実施状況の把握及び地図化に向けた検討		データ収集、地図化及び情報発信			ごみマップによる情報 発信回数:1回
			実 績	調査項目検討		地図作成			
清掃活動実施状況の把握・方法協議		情報発信							

テーマ	美しい景観を保全する	目 的	流域の団体や企業等と連携した水辺の環境保全活動を実施することによって仁淀川の景観を保全する。
取組項目	環境先進企業、関係団体との協働による仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目 標 (2024(R6))
				2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	
1	「協働の川づくりパートナーズ協定」による取組 川の環境保全活動に関心のある企業と清流保全活動に取り組んでいるNPO等、流域市町村、県と「協働の川づくりパートナーズ協定」を締結し、一斉清掃や間伐、子どもたちを対象とした環境学習などの取組を協働で推進する。	仁淀川を対象とした協定締結数:2	計 画	環境先進企業への提案の実施及び協定を締結した企業の参画による環境保全活動の推進					仁淀川を対象とした協定締結数:3
			実 績	協定締結数:3 新規:1 継続:2	協定締結数:3 継続:3	協定締結数:3 継続:3	協定締結数:3 継続:3		

1 「協働の川づくりパートナーズ協定」 寄付金を活用した取組

①株式会社サンプラザ、②アサヒビール株式会社、③有限会社高知アイス ※このほか、高知食糧株式会社や協定外企業からも支援あり

R 2～R 5 実績: ごみ勉強会及び観察会「カジカガエル」開催支援、川の安全教室及び仁淀川一斉清掃開催に係る支援、環境学習開催支援など

テーマ	排水・汚水処理対策を進める	目 的	家庭で出来る具体的な生活排水対策の広報や、地域における環境保全対策について学べるプログラムの開発及び実施により、河川環境について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	地域における環境保全対策		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目 標 (2024(R6))
				2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1	家庭での環境保全対策についての情報発信 生活排水対策に自主的に取り組む環境づくりのため、家庭でできる具体的な取組方法等の広報を実施する。	継続	計 画	家庭での環境保全対策についての情報発信 					—
			実 績	実施した市町村数: 6 広報等周知回数: 16	実施した市町村数: 7 広報等周知回数: 17	実施した市町村数: 7 広報等周知回数: 25	実施した市町村数: 6 広報等周知回数: 20		
2	「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲) 水生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計 画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)		プログラム数: 10個(うち地域における環境保全対策: 1個) 実施回数: 10回(うち地域における環境保全対策: 1回)
			実 績	プログラム数: 2 実施: 2回	プログラム数: 1 実施: 0回(中止)	プログラム数: 1 実施: 1回	プログラム数: 1 実施: 1回		

1 家庭での環境保全対策についての情報発信 R 2～R 5 実績: 各年 6～7 市町村、広報回数 16～25 回

→ 【R 6 計画(案)】

家庭でできる生活排水対策の広報実施を継続